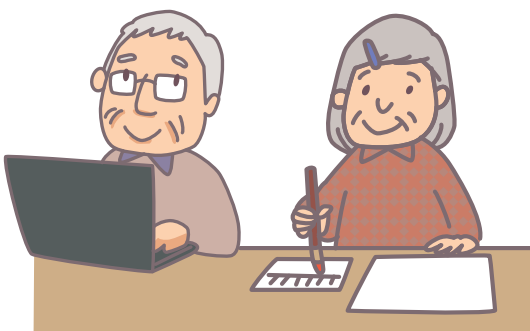


上毛町教育委員会だより

上毛町中央公民館の取組

上毛町中央公民館では、町民一人ひとりが生涯にわたって学習する機会を提供するために、各種団体と連携し、生涯学習講座を開講しています。

生涯学習講座は、「誰もが・いつでも・どこでも楽しく学べる」という生涯学習の基本方針に基づき、皆さんがいきいきとした生活を送っていただくために、年間を通して、様々な講座を企画しています。



チャレンジ科学教室

12月20日(日)、げんきの杜において町内の小学生を対象に、マスク着用や手指消毒などの新型コロナウイルス感染症予防対策を図りながら、チャレンジ科学教室を開催しました。教室では、地域ボランティアとして活動する上毛町生涯学習サポーターの「わくわくどきどきサイエンスクラブ」の皆さんが講師となって、「ゴムで飛ばす紙ヒコーキづくり」を行いました。参加した子どもたちからは「遠くまで飛ばすヒコーキをつくるのができた」「飛ばし方を工夫したら遠くまで飛ばすことができた」などの感想があり、身近な科学に触れるよい機会になりました。



吉富町・上毛町合同消防出初式(中止)

毎年1月18日に開催している消防出初式ですが、新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から、参加者及び関係者の健康と安全面を第一に考慮し、中止となりました。出初式で表彰を予定していました方々は下記のとおりです。(敬称略)

福岡県知事表彰 川野博一、岩谷信宏、田中孝明、秋吉和彦

福岡県消防協会表彰 優良団員 上西勇司、是石年美

- 永年勤続 15年 小久保修司、穴田大介、松高道生、常慶崇裕、宮元隆弘、中園公孝、小畑孝文、今西博樹、尾崎義広
- 20年 川野博一、岩谷信宏、田中孝明、秋吉和彦
- 25年 垂永彰彦、堀田京介、栗田武
- 35年 前田祐文

◎令和元年秋の叙勲

瑞宝単光章 受章

小川 清志さん(矢方)

小川清志氏は、昭和56年12月に新吉富村消防団員を拝命して以来、38年にわたる地域消防活動に尽くされた功績が評価され、瑞宝単光章を受章されました。小川氏は平成15年4月から14年8カ月間、消防団副団長として地域住民の生命財産の保全に尽くされました。

小川氏は、「この受章は、消防団の諸先輩や団員の皆様のご協力のおかげです。地域の皆様にも支えられながら消防団活動に従事することができました。」と感謝の言葉を語られました。

※受章祝賀会の開催が予定されていたのでその様子と合わせて広報誌で紹介する予定でしたが、新型コロナウイルス感染症拡大により中止になりましたので、遅れての紹介となりました。



◎令和2年秋の叙勲

瑞宝単光章 受章

近砂 熊雄さん(原井)

近砂熊雄氏は、昭和48年1月に大平村消防団員を拝命して以来、37年という長きにわたり消防団員として活動されました。上毛町消防団に合併後は、第5分団副分団長を2年間、分団長として2年6カ月の間、地域消防活動に尽くされ、この消防業務並びに消防団の振興発展に尽力された顕著な功績が評価され、瑞宝単光章を受章されました。

近砂氏は、「名誉ある章を受章できたのも、地域の方々や消防団員の皆様のご協力のおかげです。」と感謝の言葉を語られました。



令和3年 上毛町成人式

1月4日(月)、新成人52名をげんきの杜に迎えて令和3年上毛町成人式が厳粛のうちに執り行われました。

式典では、坪根町長から新成人に向けてお祝いと激励の言葉が贈られました。また、新成人を代表して、仲西明日香さんが『今はまだ勉強の日々ですが、社会の一員として常に向上心を持ち、前進してまいります。』と決意を述べました。

式典終了後、現代美術作家としてご活躍されている深堀隆介氏をお招きし、『金魚に救われて』と題してご講演いただきました。

新成人の皆さんは、深堀氏の金魚絵師として活動されるきっかけから、現在の活動に至るまでの貴重な経験談を熱心に聴き入っていました。



▲記念講演会 現代美術作家 深堀 隆介 氏



▲謝辞 仲西 明日香さん(成恒)



▲記念品贈呈 杉本 勇人さん(垂水)

